

# 浜川水系浜川 総合流域防災事業

## 事業目的

○流下能力不足による浸水被害が発生

平成2年7月洪水

浸水戸数 285戸

田畑浸水 110ha

○浸水被害の軽減を図る

・流路是正、狭窄部解消を実施

・治水安全度の向上を図る

計画流量  $280\text{m}^3/\text{s}$

計画治水安全度 1/50

# 浜川総合流域防災事業 着手年:昭和56年度 事業地:鹿島市

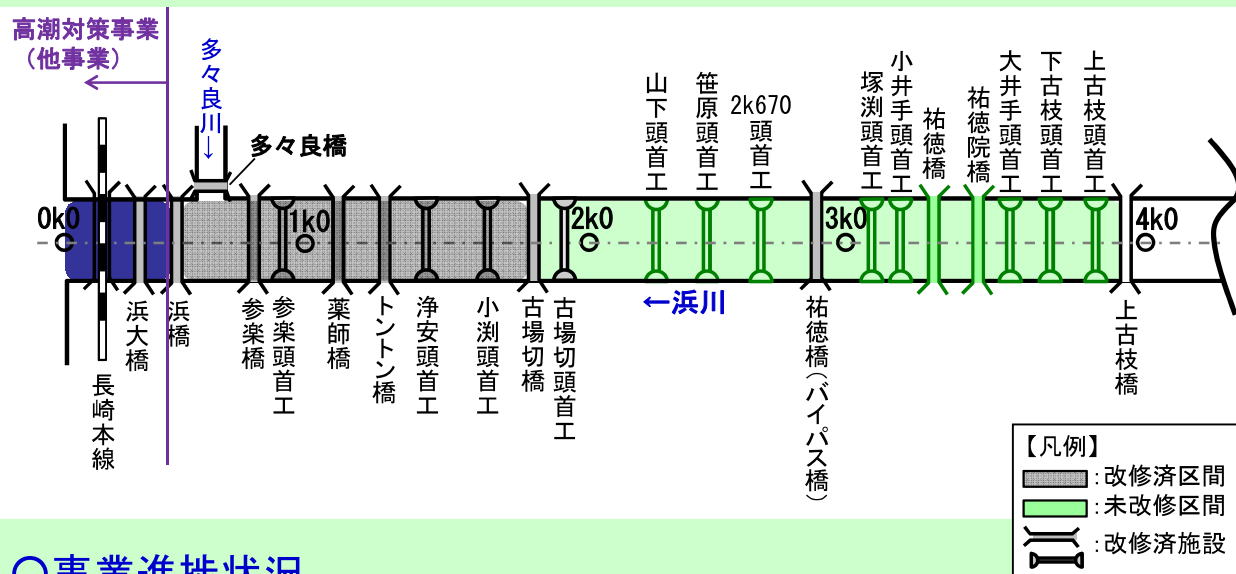


## ○事業概要

- ・全体事業費 7,585百万円
- ・事業期間 S56~H34
- ・改修延長 3,330m
- ・計画流量  $280\text{m}^3/\text{s}$
- ・計画治水安全度 1/50
- ・掘削・築堤・護岸、堰12基、橋梁7基、
- ・費用対効果 15.3



## 浜川 事業進捗状況



## ○事業進捗状況

- ・浜橋～古場切橋区間の河川改修が完了している。
- ・H24年度末進捗率 63%(事業費ベース)
- ・年平均進捗率 2.0%

# 費用対効果 B/C

総費用額C: 治水施設の整備及び維持管理に要する総費用

総便益額B: 治水施設整備によってもたらされる総便益額

(被害軽減額)

(総費用額C及び総便益額Bをそれぞれ現在価値化し比較する)

総費用C: 13,521百万円

総便益B: 206,606百万円

内訳 ・一般資産被害(家屋、家庭用品、事業所資産、農漁家資産)

73,504百万円

・農作物被害

51百万円

・公共土木施設等災害被害(道路、橋梁、農地等)

124,516百万円

・間接被害(事業所の営業停止被害、応急対策被害等)

8,484百万円

・残存価値

51百万円

## ※ 費用対効果

$$B/C = 206,606 / 13,521 = 15.3$$

## 過去の洪水

浜川流域では昭和37年7月豪雨、昭和51年9月豪雨及び平成2年7月豪雨などにより、床上・床下浸水などの被害を受けました。近年では平成11年 台風18号ではあと30cmで越水する状況となり、平成24年は高潮による浸水が発生しました。

昭和51年9月洪水による藤ノ瀬橋の流失  
(県道奥山鹿島線) 出典:「鹿島市災害誌」



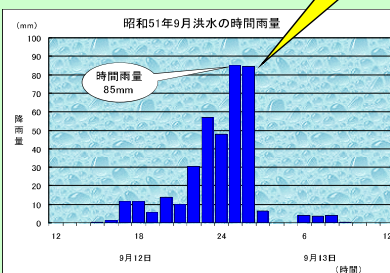
昭和57年出水状況  
(鹿島市浜町地内)



昭和60年高潮による浸水状況  
(鹿島市浜町地内)



昭和51年9月洪水では、平谷(県)の雨量観測で時間雨量最大85mmの降雨を記録!



平成11年 台風18号: あと30cmで越水する状況 (鹿島市浜町地内)



平成24年 台風16号: 高潮による浸水発生 (鹿島市浜町地内)



## 現況の河道状況

参楽橋より下流を望む



トントン橋より下流を望む



## 現況の河道状況

祐徳橋（バパス）より下流を望む



祐徳橋より下流を望む



祐徳院橋より上流を望む



上古枝橋より下流を望む

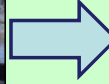


## 固定堰の改築について

改修前(固定堰)



改修後(緩傾斜型落差工)



- 河川断面を狭めていた固定堰については、位置を上流へ移動し、緩傾斜型落差工に改築。
- 下流側を緩傾斜（スロープ化）とすることで魚類等の上下流移動に配慮。
- 表面は護岸と同じく自然石で仕上げ、周辺景観へも配慮。

## 今後の浜川総合流域防災事業の継続について

### ☆河川改修の効果☆

- ①治水安全度の向上
- ②平成2年7月等の過去の洪水による  
浸水被害 285戸  
田畑浸水面積 110haの軽減
- ③地域住民の安心・安全の確保

### ☆今後の事業展開☆

- ・事業を継続し、早期完成を図りたい